

(様式第1号)

令和3年6月10日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議員 様

代表者 石垣昭一   
記録者 佐藤俊弥   
班員 狩野佳和   
// 遠藤敬知   
// 渡辺博司   
// 古澤義弘 

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和3年 5月19日(水) 午後7時 ~ 午後8時20分	
2 会 場	市立寺津公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	名(男性5名、女性0名)	
5 報告内容	意見交換会	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	市民：寺津地区には店が一軒も無い、公共交通機関のバスも無い、西部地区に対して市政の中で格差があるのではないかと感じているのか、地域づくりについて議員の皆さんに一言答えてほしい。	委員：地元議員として、全体的な環境の中で生活に関わる事について公共交通の確保等が必要でありしっかりと進める。  委員：人口減少は市内どの地域も起きており核家族化が進んでいる。安心して住み続けられる環境が必要である。市の考えと私たち個人の考えちがいはあるが、決しておろそかにしていない事を理解していただきたい。

		<p>委員：中心部に集約しようとする、国主導のコンパクトシティ政策は、どの自治体にも合致するとは思わない。究極のコンパクトシティは、東京一極集中だ。また平成の大合併も合併した自治体の9割以上が、周辺部が衰退して失敗だったと言っている。面積がコンパクトな天童市は周辺部を含めた均衡ある発展をめざすべきであり、公共交通の充実など周辺部に目を向けた政策が必要である。</p> <p>委員：芳賀：寺津線の早期道路整備促進が寺津地区の活性化につながると思う。また長岡中山線の歩道がついた道路が整備されると安心安全につながる。</p> <p>委員：昨年豪雨で高掬地区公民館へ避難された高齢者の方がおられました、寺津地区にも避難所が必要と考える。</p> <p>委員：コンビニは蔵増地区に於いてもありません、買い物は移動スーパーなどを利用した、高齢者の足を守る事業やにぎわいを作る道路も含めたコミュニティをしっかりとやっていきたい。</p>
	<p>市民：議会で皆さんに承認していただいた住宅地完成令和3年4月20日に住宅地が完成しありがとうございました。未完成な所も残っているので今後もお願いしたい。</p>	<p>委員：請願によって採択されたもので、住民の皆さんがそういう情報を出していただき議会を通してできた結果である。</p>

	<p>市民：住宅供給公社による宅地分譲は好評で子育て世帯の方が申し込まれた。市内には31の保育施設があるこどもは地元の宝である寺津児童館も認定こども園にさせていただきたい。</p> <p>避難所について、洪水になった時コロナ対応の避難所がない小中学校のコロナ対応機能向上について進めてほしい。</p>	<p>委員：寺津児童館を認定こども園の移行に向けて全力を尽くしていく。</p> <p>委員：寺津地区の子どもたちにも安心していただけるよう頑張っていきたい。</p>
	<p>市民：最上川沿線の整備が天童市だけになっていない、ゆびあと関連した河川敷の開発ができないか。</p>	<p>委員：地域の皆さんと一緒に考えていきたい。</p> <p>委員：議員報酬と議員定数についてご意見を伺いたい。</p>
	<p>市民：人口減少で議員削減もあると思う、報酬について昔は議員だけで生活をする事は考えられなかったと思う、片手間の議員活動が多かったと思う。報酬に対しては上げることでもやぶさかではない。</p> <p>市民：全国的な課題でありなり手不足が深刻な問題である。多くの人から参加していただき天童市に合った改革を進めていただきたい。</p>	
<p>7 所 感</p>	<p>人口減少の数多き事情に対して我々議員がどう理解し、解消に向け全力で取り組む覚悟が必要である。</p>	